

ふれあいタイムズ

2005年1月創刊号

発行元 國六株式会社 岐阜市長住町5-8
フリーダイヤル：0120-055-926
ホームページ：<http://www.kuniroku.co.jp>
メールアドレス：home926@kuniroku.co.jp

あけましておめでとうございます

國六株式会社
代表取締役社長 國井 重宏



新年あけましておめでとうございます。

日頃よりクニロクをご愛顧頂き、誠にありがとうございます。

我々の活動拠点である中京地区では名古屋を中心に、経済状況も上向いている旨の報道がなされており、私自身も万国博覧会会場付近の様子を見て、活気ある状況を実感する次第であります。そんな経済状況と肩を並べ、企業の不祥事や凶悪犯罪事件が毎日のように新聞紙上を賑わす度に、日本の将来を案じると同時に、我々の子ども達が健やかに育っていくことのできる、安全で安心して暮らせる環境を創らなければいけないことの重要性を身にしみて感じます。昨今のようにモノが有り余り「物質的な豊かさ」に慣れてしまい、普段の生活からは「心の豊かさ」を感じなくなってしまった我々は、精神的にリラックスできる空間や、肉体的にも休息できる時間を追いかけているのではないのでしょうか。

心の豊かさとは？

「心の豊かさ」とは、どんなものなのでしょう。私は「心の豊かさ」とは、「人と人のつながり」から、生まれてくるものだと考えます。当たり前のことですが、人は一人では生きていけません。会社では先輩・同僚・後輩とのつながりがあり、家庭では親子のつながり、そして地域社会では共に住まい暮らしやすいコミュニティを創ろうとする仲間とのつながりがあります。こうしたつながりは、お互いに接しあう事で深め強めていく事ができると考えます。議論し合ったり、喜びや苦しみを分かち合い、時には恥をかきながら、助け合い励まし合うことで、自分という人間を理解してもらい、そして人を理解しようとする。そんな接し方を日々の生活を通じて共にしていくことで、お互いを理解し合える仲間になるのだと最近痛感しています。つまりお互いを理解し合うことこそ、信頼を築くことでありそして絆を深め合うことだと考えます。こうした人間関係を築くことが、「自分はひとりではないんだ！」という気持ちを育むことになり、安心感につながるのです。私は「ひとりでない」と実感できることが、最大の「心の豊かさ」につながると考えます。



様々な「心の豊かさ」を求めて

「心の豊かさ」は、企業の営業の世界でも同様です。昨年4月より弊社では、「いつまでも安心で快適な住空間を守り続けたい」をモットーに、35年間無料定期点検システムを導入し、お客様に安心感そして充足感を味わって頂けるような実践を始めました。また、私自身家庭では、2人の子どもの父親として妻と共に、子ども達がどこで何をしてもいつも「守られている」という気持ちで暮せるように努めています。地域社会では、いざという時には、お互い助け合う事ができるよう、普段から挨拶を含めちょっとしたふれあいの時間を共有しています。

お客様への「心の豊かさ」

私は社内をよく「お客様とのパイプを太くしなさい」と申しますが、パイプを太くとは、信頼関係をより築き上げていくことでもあります。その為にまずは、自分という人間をわかってもらうこと、そしてお客様の考え方を理解することが重要です。お客様は今何を望んでいて、それに対してどうしてあげることが、最も望まれることなのかが、わかることが重要なのです。また、自分を分ってもらう為にも、セールスの話だけでなく、家族や趣味など自分自身の価値観に触れるような会話をするのも大切なのです。つまりお客様に「心の豊かさ」を提供できることが重要であると考えます。

すべての原点は、「人と人のつながり」である。その想いを常に念頭に置き行動していくと共に、「心の豊かさ」とは何かを追求し、「心の豊かさ」を人に提供できるような人間に、そして会社になれるよう努めてまいります。



107年の歴史

クニロクの創業は、明治31年(1898年)。おかげさまをもちまして、今年の3月で、創業107年を迎える事ができます。従来山林経営を中心に営んでいましたが、時代の流れの中で、昭和40年代より住宅地の開発や住宅の建設を手掛け、今では一戸建分譲住宅の販売や注文住宅の建築、リフォーム工事・エクステリア工事の受注、貸ビル等不動産の賃貸が中心となってまいりました。平成9年より愛知県江南市では在来軸組工法には欠かせないプレカット加工の工場をオープン致しました。現在も弊社では、岐阜県本巣市根尾や岡山県真庭郡新庄村を中心に約2650haの山林を所有し、施業するなど、「木」のぬくもりを大切に考え、「木」へのこだわりを持ち続け、様々な事業を展開しております。

植林～住宅のアフターメンテナンスまで

クニロクの大きな特徴は、木を育てることから宅地づくり、住宅の設計・施工・監理、アフターメンテナンスまで、一貫して自社で行えることです。住宅に使用する木を中心に様々な素材の管理ができると共に、入居後35年間の無料定期点検システムをはじめとするアフターメンテナンス、お客様の成長に合致したリフォーム提案等、住まいづくりの全てをサポート致しております。



クニロクの実践！「子育て環境に良いまちづくり」

クニロクでは、平成12年より岐阜県多治見市において487区画の住宅団地を販売しています。多治見グリーンビュー東山“公園通り”では、街の中心に4000坪の公園を配置し、公園緑地率も45%と高く設定するなど、緑豊かな街づくりの為の工夫がなされています。しかしそれらのハード的な面整備に留まるのではなく、「コミュニティ」に着目し、住まわれる皆さんの出逢いの場を創る等、ソフト的な部分の確立にも一役を担わせて頂いております。年間3回程度の出逢いの場ですが、その出逢いをきっかけに、親同士も仲良くなっていくにつれ、「おかげさま」という“ちょっと謙虚に皆を思いやる気持ち”が培われていきます。私共はこの「おかげさま」という気持ちはコミュニティの形成には必要不可欠だと考えています。また住まわれる皆さんの根底には「子ども達がより良く育って欲しい」という親だけでなく、万人の願いがあります。こうした皆さんの気持ちや願いにより親同士が当たり前のように挨拶を交わし、思いやりや助け合いの精神を育みながら一体感の中で暮らせる環境ができます。「子は親の鏡」とよく言われますが、そんな環境の中で、親の姿を見て育つ子ども達も、街中の人と挨拶を交わし、また皆から声を掛けられ注目される事により孤独感を味わうことなく、街の皆と共にすくすくと成長していくと確信しています。現在、この街には素直な子ども達がいっぱいであり、またどんどん育っています。



クニロクのモットー

『お客様の笑顔がクニロクが一番の喜びです』が、弊社のモットーです。全社員一丸となり、「お客様の安心で快適な住空間を守り続けよう」という想いで家づくりに取り組んでいます。今後も、安心で快適な住空間を創り育てていけるよう努めていく所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

トピックス<建築のウンチク>

(家相について)

家相とは、中国の戦国時代「漢」に盛んになった陰陽五行論を基にした物だそうです。時代背景や大陸的風土が色濃く反映され外敵から守る、その様な閉鎖的な側面も見受けられます。しかし殆どが環境や自然風土からの経験則に基づく知恵で有る部分と迷信的な部分ではないかと言われています。家相を信じるか信じないかは、人様々だと言えるでしょう。

例えば何の建物も建っていない更地には、太陽の光も満遍なく当たるわけですが、しかし一度、建物を建てたならば、北側は日陰になる部分はどうしても発生します。建物を建てる事によって生まれる自然現象、その条件の中で、より快適に住むことを追求したのが家相なのです。

付け加えて申し上げれば、自然界のエネルギー・恵みをいかに豊かに取り入れて、幸せに生活するか、それが家相なのだと思えます。

私個人の考え方は、方位方角に特性は有っても、善し悪しは無いとの考えです。ですから様々の特性を配慮する計画は必要でしょうが、これを必ずこの方角に置かなければならないと言うものではないと思っております。しかし、家相や風水が家族の将来に影響するかの様に言われる背景には、家その物が家族の構成や家族の生活に直接参加するもので有り、それだけ重要である事の裏付けではないでしょうか？

ご家族にとって、本当に良い家とは？

非常に奥の深い問題です。しかし迷信や祈禱に任せるのも否定する事は出来ないでしょう。しかし、それ以上に、ご家族の皆さんと一緒に話し合いながら、ご自分達で自分達家族の吉相を造る。それ位の心意気で進める事が出来ればきっと素晴らしいお住まいになるのではないのでしょうか？私の脳裏には、いつでも自分が育った故郷の家の柱の傷や天井の模様が思い浮かびます。目を瞑ると、かなり正確に間取りや配置が同じ様に思い浮かびます。家は、ご家族へ参加する事で、ご家族の一部にもなります。そして少しオーバーかもしれませんが、人格形成の上では、もしかしてその人の一部になるのかも知れませんね。

住宅事業部 小野 昌

社員紹介 1

- * 名前：柴山 良（しばやま まこと）
- * 所属：住宅事業部 営業チーム(岐阜エリア担当)
- * 出身地：石川県金沢市(兼六園の近くです)
- * ニックネーム：りょう
- * 短所：すぐ忘れるところ。(但し嫌な事もすぐ忘れられるので長所でもある?)
- * 長所：好きな事は徹底して行う。自分が納得しないと気が済まないところ
- * 國六はこんな会社です：



決して大きな会社では有りませんが、社員の仕事に対する情熱はとて大きく他社には負けません。

平均年齢も若く、社員全員で良い家づくりを考えています。

- * 住宅に関するコンセプト：

良い家をご提供するのは今や当たり前の事で有り、分譲住宅に於いては周辺環境も重要なポイントだと思えます。國六の家づくり、街づくりを是非ご検討頂けたらと思います。

- * お客様へ一言：

私事で恐縮ですが、今FP(ファイナンシャルプランナー)の資格取得に向け猛勉強中です。住宅ローン等のご相談は勿論ですが、お客様の生活設計(ローン組替え・税金等)でもお役に立てればと思っております。

社員紹介 2

- * 名前：山中 利夫(やまなか としお)
- * 所属：住宅事業部 建設チーム
- * 短所：話好き(話過ぎ)
- * 長所：親しみやすい性格
- * 國六はこんな会社です：一言で...『お客様思いの会社です』
- * 住宅に関するコンセプト：住宅=家



家は“箱”家族の財産・夢...etc

箱は家族がともに創り上げていく場所です。

私は、そんな箱創りのお手伝いをさせていただいております。

『光』『風』『つかいやすさ』をコンセプトに、自由な空間創りが大切だと思っております。

- * お客様へ一言：

住まいは家族の一員です。そこには、いろいろな思いが染み込み家族の歴史が刻まれていきます。

そんな、愛着あるマイホームを少しでも長持ちさせたいという思いを大切に...(私達、創り手も同じです)

家は、汚れたり痛んだ箇所から順にメンテナンスしてゆけば、元気な住まいを保つことができます。

プロである創り手ならではの、アドバイスがあります。些細なことでも、お気軽にご相談ください。

僕の作文

“ぼくのすんでみたい家”

ぼくのおとうさんは、くろくという会社ではたらいています。

かいしゃはおうちを建てるしごとだそうです。

でもおとうさんは、よその人の家ばかり建てています。

ぼくはおとうさんに言いました。

「ぼくたちの家はいつ建てるの」

おとうさんはいやそうに言いました。

「たわけ どこにそんなお金があるんじゃ」

ぼくはちょっとだけ悲しかったです。

ぼくは大きくなったら、大きな窓とえんとつがあるいえを建てたいなあとします。

おとうさんとおかあさんとぼくたち子どもたちと犬ときんぎょがいっしょに住める家にしたいなあとします。

だからおとうさんがもっていない、お金をいっぱいあつめたいのでお年玉もちょきんにしたいとします。

おわり

- 名古屋市立牧野小学校2年 おの ようすけくんの作品です -



編集後記

改めまして、新年明けましておめでとうございます。去年は台風が幾つも上陸して野菜が高かったり、原油の価格が高かったりして、家計に厳しい冬だと思えます。こんな寒い中でも犬だけは元気かと思いきや、私の実家の犬は外に居ると震えが止まらず、家の中に入れると言ってくる、番犬にもならない柴犬です。そして部屋の中ではファンヒーターの前を陣取って寝ています。健やかに育つようにと健犬(ケンケン)と名づけたにもかかわらず...。皆様のお宅で変わったペットを飼っていらしたらぜひ教えてください。お待ちしております。

今回初めての発行でしたが、最後まで読んで下さりありがとうございました。これからは隔月で発行していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。